

# 「夜須高原通学キャンプ」

～ 仲間をふやして、仲間とチャレンジ6日間!～

- 1 趣 旨 家庭から離れた共同生活をとおして、基本的な生活習慣を身に付け、限られた時間の中で見通しをもって主体的・協働的に生活する力を育成し、子供たちの「生きる力」の基盤となる豊かな人間性や人間関係能力を高める。
- 2 主 催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立夜須高原青少年自然の家
- 3 後 援 飯塚市教育委員会
- 4 期 間 令和2年11月23日(月)～11月28日(土) 5泊6日
- 5 会 場 国立夜須高原青少年自然の家
- 6 対 象 飯塚市立上穂波小学校、大分小学校、内野小学校 4・5・6年生
- 7 参加者 31名  
(上穂波小5年男子1名女子5名・6年女子6名、大分小5年男子4名女子3名・6年女子6名、内野小4年男子1名女子1名・6年女子4名)

## 8 日 程

[1日目] 23日(月)	13:15	13:45				17:00	18:00		20:30	21:30
	迎 え	開 会 式	IKR・本部 アンケート記入	オリエンテーション 仲間づくりレクリエーション		つどい 夕食	活動計画作成 等	入 浴	ふりかえり 就寝準備	消 灯
[2日目] 24日(火)	6:00	6:50	7:30			17:00	18:00		20:30	21:30
	起 床	宿舎掃除 寝具整理	登校準備 健康観察	つどい 朝 食	出 発	学 校	つどい 夕 食	生活・学習・仲間タイム (入浴・洗濯・学習・天体観測)	ふりかえり 就寝準備	消 灯
[3日目] 25日(水)	6:00	6:50	7:30			17:00	18:00		20:30	21:30
	起 床	宿舎掃除 寝具整理	登校準備 健康観察	つどい 朝 食	出 発	学 校	つどい 夕 食	生活・学習・仲間タイム (入浴・洗濯・学習・ポッチャ)	ふりかえり 就寝準備	消 灯
[4日目] 26日(木)	6:00	6:50	7:30			17:00	18:00		20:30	21:30
	起 床	宿舎掃除 寝具整理	登校準備 健康観察	つどい 朝 食	出 発	学 校	つどい 夕 食	生活・学習・仲間タイム (入浴・洗濯・学習・ シャッフルボード)	ふりかえり 就寝準備	消 灯
[5日目] 27日(金)	6:00	6:50	7:30			17:00	18:00		20:30	21:30
	起 床	宿舎掃除 寝具整理	登校準備 健康観察	つどい 朝 食	出 発	学 校	つどい 夕 食	生活・学習・仲間タイム (入浴・洗濯・学習・ナイトハイク)	ふりかえり 就寝準備	消 灯
[6日目] 28日(土)	6:00	7:00	9:00	9:30		13:00	13:30		14:10	
	起 床	宿舎掃除 寝具整理	つどい 朝 食	退 点 準備	退 所 点 検	ポブスレー BBQ	アンケート記入	退所式 (修了証授与など)	送 り	

## 9 活動の実際



【宿泊室に移動】



【天体観測】



【食事時間】



【学習時間】



【全体写真】

## 10 感想

- この1週間で班の人や他の班の友達などと協力して過ごせてよかったです。1日ずつ過ぎていくにつれ、仲を深められてよかったです。
- 仲間と一緒に行動するとよい言葉も聞けるし、会話もはずむということが、今回の仲間から学ぶことができました。
- 学んだ事は、友達と協力する大切さです。新しい友達と楽しく活動するためには、協力することが大切だとわかりました。
- こんなに他の学校の子と話したり、仲間として活動したりすると思っていなくて、本当に他の学校の子と交流を深められるいい体験になりました。

## 11 成果

本部アンケート結果

項目	満足	やや満足	やや不満	不満	満足・やや満足の割合
①事業全体	24	6	1	0	96.8%
②事業の活動内容	18	12	0	1	96.8%
③事業の進め方	23	1	5	2	77.4%
④職員の対応	24	5	1	1	93.5%

- 本部アンケートの結果から、3つの項目において満足度を得ることができた。③については、開会式で事業の趣旨を小学生向けにわかりやすく説明し、毎日の活動についても説明を全日程の見通しを持たせたにもかかわらず、「ゆっくりしたかった」「自分でするので疲れた」など事業の趣旨にそって前向きに取り組めなかった参加者がいたためと考えられる。

### I KR調査結果

能力	事前調査結果 (11/23)	事後調査結果 (11/28)
生きる力	119.1	127.7
心理的社会的能力	58.5	62.4
徳育的能力	35.9	39.0
身体的能力	24.6	26.2

- I KR調査の結果から、生きる力及び他の各能力も事前から事後にかけて平均値が向上し、その向上に有意差が見られた。特に、「早寝早起きである」「だれとでも仲よくできる」「だれにでも、あいさつができる」「だれにでも話しかけることができる」「自分からすすんで何でもやる」といった質問項目の数値が大きく向上した。このことから、早寝早起き、時間を守るといった基本的な生活習慣を身につけようと意識して活動に取り組んだこと、すぐには取り組むことができず、お互いが交流するのに時間はかかったが、仲間を増やそうと、あいさつしたり話しかけたりして活動に取り組んだ事ができたと考える。
- 「花や風景などの美しいものに、感動できる」「季節の変化を感じることができる」といった自然への関心に関する項目も数値が大きく向上した。このことから、施設での生活をとおして、自宅付近との気温や自然の違いに気づくとともに、天体観測やナイトハイクといった体験活動をとおして、自然のよさを味わうことができたと考えられる。

## 12 課題

- 日程が進んで、だんだん学校間の壁がなくなって交流する参加者が多くなっていくにもかかわらず、班活動中は一緒に行動するが、自由時間になると同じ学校の友達と一緒に行動する参加者が見られた。また、職員の意図や考えに同意せず、指示に従おうとしない参加者も見られた。次回実施する際は、配布する要項や申込用紙に、参加者（小学生）にもわかる言葉で事業の趣旨や活動について説明する文章をいれるなど、事業に参加する姿勢について事前に意識付けする必要があると考える。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、例年取り組んでいる班ごとの夕食作り活動をすべて取りやめることとした。夕食作りは、班での交流を深める大切な共同作業なので、次回は是非実施するよう検討する必要がある。